

令和 7 年度事業計画 (令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日)

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

1 事業実施の方針

「瀬戸内海研究会議」の 30 年に近い活動実績を活かし、瀬戸内海の環境を取り巻く情勢変化に対応し、会員相互の協力のもと、次の基本方針に基づく諸事業を推進するとともに、他主体との連携強化を図り、各種施策の具体化に向け、提言を行っていくこととする。

- ① 本研究会議は、自然科学はもとより社会科学、人文科学等を含めた学際的な集団であり、また、学・産・官・民の研究者等の集合体でもあるので、会員の研究発表及び会員相互の情報交換の場として組織の充実を図る。
- ② フォーラムやワークショップを開催するなど、調査・研究の成果及びその他の関連情報（環境保全・創造をはじめ、地域づくりや観光・産業の振興等を含む。）の交換と普及を図る。
- ③ 瀬戸内海の環境の保全と適正な利用について研究し、必要な提言を行う。
- ④ 国、地方公共団体等が行う瀬戸内海に関する調査・研究に協力するとともに、助成財団等からの調査・研究助成の獲得に努める。
- ⑤ (公財) 国際エメックスセンターが行う世界の閉鎖性海域環境保全活動への参加、協力を行うとともに、関係団体と交流し、学際的な情報と技術の交流を図る。
- ⑥ (公社)瀬戸内海環境保全協会が実施する調査・研究・教育及び普及啓発に係る各種事業に対して、必要な助言及び支援を行う。

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 調査研究に関する事業

① 「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究委託事業」の受託実施

(受託額：3,500 千円)

瀬戸内海環境保全知事・市長会議（以下「知事・市長会議」という。）の委託を受け、瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究を以下により実施する。

ア 設定テーマ

テーマ1 瀬戸内海における栄養塩類增加措置の生態系への効果把握に向けた研究
テーマ2 陸域から瀬戸内海に流出するプラスチックごみ量の推計方法に関する研究

イ 推進体制

総括：駒井 幸雄（瀬戸内海研究会議企画委員長）

テーマ1 担当：吉江 直樹（瀬戸内海研究会議企画副委員長）

テーマ2 担当：原田 穎夫（瀬戸内海研究会議企画委員）

ウ 研究期間

令和7～9年度

エ 進め方

- ・令和7年度研究公募で採択された研究者2名に研究費を助成して研究を進める。
- ・助成限度額は150万円/年、助成総額は300万円の範囲内とする。

② 「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に係る受託業務の実施 (受託額：2,758千円)

ア 研究助成制度の運営

大阪湾広域臨海環境整備センターから受託した令和7年度の「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に係る業務の運営、研究報告のとりまとめを行う。

イ 成果発表会の開催

令和7年度に助成を受けた大学・研究機関等の成果発表会を行う。

- ・時 期：令和8年4月頃
- ・場 所：神戸市内

(2) 調査研究成果の普及・教育に関する事業

① 豊かな瀬戸内海に向けた提言集（報告書）の出版

瀬戸内海環境保全特別措置法制定50周年を踏まえ、研究会議として、これまで知事・市長会議からの委託研究の成果等を基に作成し、令和6年度同会議総会で報告した「豊かな瀬戸内海に向けた提言集」を出版し、行政施策への活用の提言を促進する。

- ・体 裁：B5判、並製、本文は白黒（口絵はカラー図版）

② 「瀬戸内海研究フォーラム in 香川」の開催

産・官・学・民による瀬戸内海に関する学際的な研究や事例発表・会員相互の交流の場とするため、令和7年9月8日～9日に香川県高松市内で「瀬戸内海研究フォーラム in 香川」を開催する。

- ・テーマ：豊かな海の実現戦略

③ 「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究ワークショップ」の開催

瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究等について、研究者、企業、行政、市民との意見交換の場とするため、「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究ワークショップ」を開催する。

- ・時 期：令和7年12月頃
- ・場 所：神戸市内
- ・テーマ案：地球温暖化による瀬戸内海の影響を考える

④ 「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム」への支援・協力

(公社)瀬戸内海環境保全協会が、会員等の新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に実施している「瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム」の講師に関して、協力する。

- ・日 時：令和7年10月22日（水）～10月24日（金） 3日間（2泊3日）
- ・場 所：（講 義）広島県広島市 安芸区民文化センター
(現地研修) 広島県江田島市 さとうみ科学館

(3) 国内外の情報及び技術の交流に関する事業

① 世界の閉鎖性海域環境保全活動への参加協力

(公財)国際エメックスセンターが主催する国際セミナーへの後援を行うなど世界の閉鎖性海域環境保全活動への参加協力をを行う。

② ホームページによる情報発信

研究会議が実施する各種事業の周知及び調査・研究事業の推進等を図るため、会員相互の情報ネットワークとして研究会議のホームページの運用・管理を行う。

3 事業実施体制

(1) 通常総会

- ・日 時：令和7年9月8日（月）
- ・場 所：香川県高松市 高松市文化芸術ホール（サンポートホール高松）

(2) 理事会

年2回程度開催(前年度決算に関する7月開催の理事会は書面開催)

(3) 企画委員会

年3回程度開催